

結 果 報 告

| | | | | | |
|------|----------------------------|-----------|----------------|------|------|
| 大会名 | 平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会 | | | | |
| 競技日 | 12月26日 (金) | 試合番号 | 3-3 | 回戦 | 準々決勝 |
| 種別 | 男子・女子 | 会場 | 枇杷島SC ・ 愛知県体育館 | | |
| Aチーム | | | Bチーム | | |
| 大崎電気 | | | トヨタ自動車東日本 | | |
| 得点合計 | 小計 | | 小計 | 得点合計 | |
| 27 | 13 | 前半 | 10 | 21 | |
| | 14 | 後半 | 11 | | |
| | | 第1延長 (前半) | | | |
| | | 第1延長 (後半) | | | |
| | | 第2延長 (前半) | | | |
| | | 第2延長 (後半) | | | |
| | | 7mTC | | | |

【 戦 評 】

記載者氏名 澤田 光男

大会3日目の第3試合は大崎電気とトヨタ自動車東日本の対戦。大崎電気のスローオフで試合開始。大崎電気・8番の東長濱の先制点で幕を開けるが、前半4分まで1対0と緊迫した試合となる。その雰囲気打ち消すかのように、前半9分に大崎電気・10番の小室を皮切りに4連取する。しかし、トヨタ自動車東日本は、前半17分に大崎電気の2人の退場を機に4連取で9対7と2点差に追いつく。その後、お互いに一進一退の攻防を繰り広げて、13対10で大崎電気の3点リードで前半を終える。

後半開始直後に、トヨタ自動車東日本・10番の玉井が得点を挙げる。その玉井の活躍もあり、トヨタ自動車東日本は後半13分に1点差まで追い上げるが、大崎電気はキーパー木村の好セーブがあり、逆転を許さない。トヨタ自動車東日本は、後半14分に7mスローを与えてしまい、そこから大崎電気は怒涛の4連取で5点差を付ける。大崎電気は後半終盤に1人の退場者を出したが、リードを守り切り、27対21で勝利。大崎電気は準決勝へと駒を進めた。